



特色のある授業を目指して ~高等部~



高等部には23名の生徒が在籍し（1名休学中）、Ⅰ課程3名、Ⅱ課程A2名、Ⅱ課程B1名、Ⅲ課程14名、訪問教育課程2名のグループに分かれて学習に取り組んでいます。新型コロナウイルスの流行に伴い、佐賀整肢学園こども発達医療センターに入院・入所している生徒は、別教室での授業やリモート授業を行っています。10月には、3年ぶりに3年生の修学旅行を実施することができました。

Ⅰ課程

各教科の授業や資格取得のための学習や練習に取り組んでいます。10月には「就労支援フォーラム」に参加しました。パワーポイントの資料を使って学校の紹介や就業・施設体験の様子について紹介しました。会場には多くの関係者が集まり、発表のときはとても緊張しましたが、最後までやり遂げることができてよかったです。



Ⅱ課程A

生活単元学習や音楽、美術の授業を通して季節を感じたり、表現したりしています。また、作業学習では布製品や紙製品、焼き物などの製品作りや企業の箱折り作業を行っています。校内販売会では、自分たちで作った製品を売る接客業務も体験しました。高等部卒業後に向けて、学習に取り組んでいます。



Ⅱ課程B

校外学習では、県内のいろいろな施設を見学しました。九州佐賀国際空港では、空港で働く人たちの様子をじっくりと見学することができました。小城市の羊羹資料館では、羊羹づくりの見学をしたり、シュガーロードについて学んだりしました。10月の文化祭では、ステージ発表も行いました。



Ⅲ課程

生活単元学習や音楽会で季節を感じたり、制作活動をしたりしながら毎日充実した学校生活を送っています。自立活動では、それぞれの生徒の実態に応じて身体をほぐしたり、スイッチを使って道具を動かしたり、様々な活動に取り組んでいます。文化祭では、USJのいろいろなキャラクターに扮して劇をしました。



整肢学園生

新型コロナウイルスの影響により本校舎生との交流ができず、少ない人数での活動ですが、音楽や遊具を楽しんだり、花や野菜を植えたり、プレゼントを作ったりするなど様々な学習に取り組んでいます。修学旅行では、西九州新幹線に乗って長崎へ行きました。



訪問教育課程

生徒の安全・安心を第一に感染症対策として、リモート授業を行っています。スクーリングで行事に参加できなかったのが残念です。来年こそは、友達や先生に会えると良いと思います。文化祭ではミニオンの展示物を持って、実物大の模型で参加しました。



★分校舎 小学部・中学部★

分校舎小・中学部では、佐賀整肢学園こども発達医療センターに入所・入院している30名前後の児童生徒が学習しています。今回は令和4年10月15日（土）に行われた「スポーツフェスタ」の様子を紹介します。

『BestPerformance 最高の結果を～最高の瞬間を～』のスローガンのもと、一人一人が日ごろの学習の成果を発表しました。



みんなで交替しながら司会進行を担当しました。



《小学部Ⅱ・Ⅲ課程》一人一人が「お助けヒーローとまとまん」に変身して、色々な野菜を助けました。最後に大きなお芋をみんなで協力して助けました。



《小学部Ⅰ課程》競技の初めの運試し。ルーレットで「アーニャコース」と「デクコース」が決まります。ボールを投げたりピンを倒したり、バスケットボールをシュートしたりして、二人でミッションクリア！！ゴールで校長先生より金メダルを掛けてもらいました。



《中学部》2チームに分かれてボールリレーに取り組みました。それぞれの得意技の披露に歓声が上がりました。最後は「さが さが さが」の曲に合わせて、みんなでダンスとバルーンの演技も披露しました。



《訪問教育》「キック&スライド」の曲に合わせてダンスした動画を紹介しました。



最後は、分校舎のみんなで「ツバメダンス」をしました。笑顔あふれるスポーツフェスタになりました。

佐賀県立 **金立特別支援学校**

〒849-0906
佐賀市金立町大字金立 2339-2
TEL (0952) 98-1135
FAX (0952) 71-8001
URL <https://www.education.saga.jp/hp/kinryutokubetsushien/>

